



# しののめ

No. 1 H29. 4.12

(文責 校長)

## 【校訓】 自主 開拓

【学校教育目標】健康で、豊かな心と知性をそなえ  
すすんで自己を開発する生徒の育成



## 始業式、入学式を挙行。新年度スタート

4月6日(木)、1学期の始業式が行われました。校長からは、イチロー選手の小学生時代の作文を紹介し、夢はかなうと信じて疑っていないこと、夢の実現に向けた努力(猛練習)を苦とも思っていないこと、野球に打ち込めるのは周囲のおかげと感謝の気持ちをもっていることに触れ、このような前向きな姿勢を手本にしてほしいことを話しました。そして前向きさを具体化した姿として、学習や部活等の学校生活で「顔が上がっている生徒」であってほしいと伝えました。顔を上げて前を向いて日々取り組んでいる生徒は大きく伸びます。期待しています。

3年生を代表して須藤達也さんは「がんばりたいことが3つあります。1つは学習。なぜ、という疑問をもち解説を読んでいます。2つ目は応援団活動。東雲中の応援をさらに高め、全県一の応援活動にしたいです。3つ目は部活。試合のみならず1日1日の練習そのものを大切に自分を高めていきたいです」と力強くに新年度の抱負を語ってくれました。

始業式のあとは、お待ちかねの担任、部活担当等の発表。担当の先生が発表されると歓声や拍手が湧きました。ともにがんばっていきましょう。



翌7日(金)は入学式。向能代小、朴瀬小、竹生小から72名の新入生を迎えました。校長からは「よい学校とするために各人が心がけてほしいこと。1つは礼節。思いやりの心をもって行動に移してほしい。よい仲間、高め合う集団であることがよい学校の土台。もう1つは、心の見張り番を置くこと。楽な方向に流れそうになる自分を戒めるもう1人の自分をつくるのが大切。温かい仲間がいて、努力し、その結果、自分の成長を実感する。そういう学校こそがよい学校。みんなで創り上げ

ましょう」と呼びかけました。

新入生代表の園部誠心さんからは、「東雲祭や雪中綱引きに憧れをもっていたので、入学できることを誇りに感じます。挑戦する気持ちを忘れずに前進していきたいです。3つの小学校から入学した友達と力を合わせ、3年後の卒業式の日には中学校生活に悔いはなかったと胸を張って言えるよう全力を尽くします」と堂々とあいさつ。体育館が大きな拍手に包まれました。ご入学おめでとうございます。

